



第550号

千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会
公益財団法人 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会
〒102-0075 千代田区三番町2
電話 03 (3261) 6700
FAX 03 (3261) 6712
http://www.boen.or.jp
郵便振替口座 00140-2-42556
編集人 塚田 章
発行人 榎枝 宗男

令和3年度事業は順調にスタート

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の令和3年度事業が開始され、コロナ感染対策を採りつつ、4月5月の事業は計画通り実施できた。

昨年4月7日発出された二回目の「緊急事態宣言」の期間中は墓苑創建以来初めてとなる長期閉苑となり、団体参拝を含み慰霊行事を全く実施できなかった。本年は4月12日からの「まん延防止等重点措置」これに引き続く4月25日からの3回目の「緊急事態宣言」期間中においても墓苑は引き続き開苑された。残念ながら、厚生労働省による拝礼式や海上自衛隊遠洋航海実習幹部による慰霊参拝行事等国の機関による行事は中止になったものの、各宗教団体等による慰霊行事・月例参拝については、ほぼすべての団体により執り行われた。

また、参拝者についても、個人参拝者は例年よりは少ないものの、閉苑により参拝者がゼロであった昨年に比べれば賑わいをみせており、戦没者慰霊の灯(ともしび)は継続して灯されている。ワクチン接種効果の發揮により、一日も早い団体参拝の復活が待たれるところである。緊急事態宣言中、奉仕会の通常理事会と定時評議員会は2年連続で対面方式から書類方式へと変更を余儀なくされた。一部役員からの要望もあり、オンライン方式による会議の可能性を検討中である。宗教団体等による慰霊行事においても動画のライブ配信に伴う奉仕会の回線利用のニーズが高まっていることもあり、奉仕会業務のデジタル化は喫緊の検討課題であると認識している。



今年最初に開花した大賀ハス (6月21日撮影)

本年度は、戦後70年や墓苑創建60周年のような節目の年ではなく、各種検討を落ち着いてできる環境にある。本年度の奉仕会業務については、これまでの業務に加えて、中期事業計画の検討、若年層をターゲットとした投稿記事「かけがえない日本、かけがえない世界」の募集を重点に実施している。中期事業計画の検討については、既に二回目の検討会を実施し、新たな施策の案出とともに、事務局におけるあらゆる業務を見直し、特に①墓苑の知名度向上策、②三減(会員数、参拝者数、献花料等収入の減少)対策、③働き方改革・デジタル化を重点に検討していくこととしている。

奉仕会新会長の就任



5月13日に実施された評議員会緊急事態宣言発出中であり、書面による決議にて実施において、理事会より推薦のあった鈴木俊二氏(衆議院議員)が新会長に選任されました。新会長の主な略歴は次の通りです。

衆議院議員 鈴木俊二氏

生年月日 昭和28年4月13日(68歳)

最終学歴 早稲田大学教育学部

平成2年 衆議院議員初当選 現在9期目

平成3年 厚生政務次官(第2次橋本内閣)

平成13年 衆議院厚生労働委員長

年度末までの計画完成を目標に検討をすすめる予定である。

また、「かけがえない日本、かけがえない世界」については、清掃奉仕を含む団体参拝者等への投稿依頼を行っている他、今後は個人の投稿も募っていくことを考えている。投稿者が多数の場合には「語り継ぐ戦中・戦後」と同様に製本化について検討を行う予定である。

コロナ禍が継続する状況ではあるが、これまで培った感染防止策を徹底しながら、本年度事業を進めていきたい。

法華宗(本門流)宗務院 戦没者慰霊法要

4月9日(金)、全国の法華宗の僧侶、檀信徒約30名が参列して、法華宗(本門流)宗務院主催の千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要が執り行われた。墓苑本屋内の祭壇には曼荼羅の本尊が祀られ、一同が南無妙法蓮華経を唱題する中、導師の二瓶海照宗務総長代理である三吉廣明総務部長が入場・着座し法要が開始された。法要は勧請、方便品、自我偈等と経文

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

真言宗護國派による慰霊法要

4月11日(日)、全国の真言宗護國派による「千鳥ヶ淵戦没者慰霊光明三昧會」が同派の僧侶等の代表者26名が参加して執り行われた。法要では導師である北野有範・真言宗護國派管長の入場で開始され、奠供・四智梵語の後、北野導師による誦誦文朗読が行われ「大東亜大戦に召集されて異郷に赴き、貴い人命を厳寒の荒野に晒し、あるいは、その身骨を南海に沈ませた人たちは、祖国護持のため、陸に、海に、また空に捨身を散華し殉国の精霊となった。国内外で戦禍に斃れた人は三百万人余に及ぶと聞く。先の大戦で散った御霊が77回忌を迎えた今日、激戦の惨禍やご遺族の心情を伝えうる人々も年々お亡くなりになっており、慰霊行事がやますれば形式的になっていくように思える。昨今の我が国の状況を顧みれば、国家が繁栄し物は溢れているが心貧しく、私欲のみを追求し、公に尽くすという気持がなくなっている感がある。光には必ず影があり、アジアの発展・安寧という光を実現するために散った御霊という影があることを忘れてはならない。アジアの安寧に尽くし、戦争の実相を正しく伝えることこそ戦禍に散った英霊を慰める最善の道と信じている要旨」と述べた。その後も宗教行事が続き、最後に国歌斉唱が行われて法要は終了した。

- 平成14年 環境大臣(第1次小泉内閣)
平成24年 外務副大臣(第2次安倍内閣)
平成25年 衆議院外務委員長
平成29年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣(第3次安倍・第3次安倍改造内閣、第4次安倍内閣)
平成31年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣(第4次安倍改造内閣)
令和元年 自民党総務会会長

【関連情報】鈴木善幸元首相のご子息であり、麻生副総理(財務)大臣の義弟にあたる。現職の国会議員が奉仕会会長を兼務するのは、第3代会長藤井内牛氏(案議員議)昭和50〜55年の間(会長職)の例がある。環境大臣、厚生政務次官を歴任し、式典の機会に2回ほど来苑した由



が続く、最後に三吉総務部長による法話が行われ「私達は太平洋戦争という一つの言葉、事件でその犠牲者三百万人の方々に語りかけます。ですが、そうではなく二つの命があり、戦死、戦病死、戦災死と様々な形で望まぬ死を遂げた多くの方々がいるということ、未だ身元が分からず、家族のもとに戻れない多くの諸霊位がおられることを忘れてはなりません。三百万人の二つの命が失われ、二つに悲しみがあふれ、無念があり、そういうこ

真言宗護國派にとっては、宗派の立ち上げ以降毎年墓苑での慰霊法要を継続しており、本年は77回忌にあたることから、これまでよりも大規模な法要が行われた。



龍雲寺御詠歌慰霊法要の会

4月13日(火)、臨済宗妙心寺派の龍雲寺が主催する御詠歌慰霊法要の会(会長 細川景氏)が執り行われた。16名の参加者は般若心経を唱えた後、鈴に合わせて、三宝恭敬御和讃、三宝恭敬御詠歌(三宝節)、追善御和讃、追善御詠歌に続き、戦没者追弔御和讃、平和祈念御和讃、平和祈念御詠歌(和光節)などを唱和し戦没者の冥福を祈った。



【語り継ぐ戦中・戦後⑬】

参謀瀨島龍三の肖像
— 残された家族の苦難 —

東京都調布市 緒方繁代様ご提供

●帰国する父
「東京都瀨島龍三様」1956年夏、ラジオでは、シベリアからの帰国者の名前を

母の清子(2007年死亡)は妹と観劇に行っていた。駅に向かった繁代は改札口の前

●福井へ疎開
終戦直前、瀨島が関東軍参謀として満洲(現中国東北部)に赴任して以来、家

【語り継ぐ戦中・戦後⑭】
今を丁寧に生きる
山口県防府市 五味 志麻子

「ここは御国を何百里 はなれて遠き満州の…」
小学校低学年の頃、図書室で何気なく手に取った本に書かれていた歌詞。意味はよく分からなかったが強く心に響いた。

幼い興味は関心へと変わっていく。太平洋戦争についての書物を読んだり、軍歌を聴いたり、祖父に戦争の話

繁代の表情が曇る。思わず立ちすくむが清子に促され、何度も振り向きながら家に向かった。その家も御影石の門柱を残してすべて焼け落ちていた。「かわいそうなほど、何も残っていないかった」

福井空襲では2万戸以上が消失、約9万人が罹災し、死者数は千五百人を超えた。空襲から1か月後の終戦も福井で迎えた。繁代たちは「2階建ての揺れるボロ屋」で、どこからか借りてきたラジオで玉音放送を聞いた。大人たちは涙を流していた。

●家族を支える母
それでも清子は、瀨島の代わりに家族を支えた。農林省の家畜衛生試験場

食べ物を十分に、配給のぬかに小麦粉と少しの砂糖を混ぜ、フライパンで焼いた自家製のパンが食卓に出たこともあった。「苦しいです。ただ、おなががすいていますから、食べさせられました。母が『これでもあるだけ幸せよ』と言った」と繁代は話す。

清子は抑留されている瀨島の元に届くようにと、小包を作って何度か厚生省に届

り、靖国神社や千鳥ヶ淵戦没者墓苑に足を運ぶようになった。散華された方々の手紙や遺書を読むと胸が締め付けられる。今自分が不自由なく生活できていること、当たり前前と比べていることがいかに有難いことなのかを痛感させられる。

怠惰な生活を送っている自分が恥ずかしくなる。あの時代を生きた人々が今の日本をみたらどう思うだろうか。この曖昧な日本をどう思うだろうか。戦後75年の月日が流れた。世が世なら、時代が時代なら、私はどう生きていたのだろうか。日々を大切に丁寧に生きていたいと思う。「いつの世も 赤い十字は 無償の愛」(負傷した兵士の手当てをする衛生兵に思いを馳せる)

けた。家族の写真や「お元氣ですか」「帰つてきくさい」などとしたためた手紙に靴下、シャツを丸めて入れた。甘いものが好きだった瀨島のために羊羹も入れた。●瀨島を迎える家
家族にとって転機が訪れたのは53年。都内の市営住宅に入ることができた。6畳と4畳半の2間の小さな家だったが、自分たちの家が持てたことは大きな喜びだった。繁代がラジオで瀨島の帰国を知ったのもこの家だった。

56年8月、日本に戻る瀨島を迎えに行

舞鶴港に向かう。東京裁判に証人として出廷する瀨島に会った46年秋、7歳だった繁代は17歳になっていた。

― 読売新聞北陸版に掲載された記事より抜粋 ―

【語り継ぐ戦中・戦後⑮】
父を偲んで

佐賀県佐賀市 船津丸 守

俳句13首
・父に泣き伯父にも泣いた敗戦日
・虫干しや弾の痕ある日章旗
・七十五年禍根を残す開戦日
・虫干しや父の戦記のびつしりと
・盆の母軍隊手帳も供えをり
・玉音放送われ六なりし盆の村
・元兵士直立不動終戦日
・海底の武蔵ニュースや春炬燵
・父の忌や勲章飾る梅雨曇り
・ハーモニカ異国の丘や冬の月
・抑留の物語らず冬北斗
・虫干しの戦記に姉と僕のこと
・ぼろぼろの戦陣訓に風入れる
短歌12首
・陸海空たがい誓いし凱旋も
父は帰らず伯父貴も叔父も
・サイパンに兵なりし人米寿にて
逝きぬ戦を終えるごとくに
・日の丸も父も貫く銃弾の
痕なまなまし戦記とともに
・国の為戦火に散った英霊を
知る者いわず言う者知らず



船津丸 守

・戦地より届くはがきのカタカナに
二本線引く検閲の跡
・教科書が教えてくれぬ歴史あり
・南京のこと慰安婦のこと
・戦没の父を想へばはるかなり
・くらい人だと言はれ育ちぬ
・書を曝す父の戦記のびつしりと
・故郷のことも僕らのことも
・村葬に桐の小箱を抱きゆく
・昔日しのぶ父の命日
・姉妹と逢いに来ました九段まで
・別れに降った日の丸の旗
・軍服の父の写真は僕よりも
・はるかに若く立派に見へる
・海神の御碑埋もれるつるくさの
・廃墟に夕日映える過疎なり

戦地からの手紙
【はがき】
静子さん妙子さん 元氣で学校に行つて勉強してゐますか お祖母さんやお母さんの言はれる事をよく守つて民子のおもりをしますので。そして兄弟仲良く暮らすのですよ。お父さんも毎日元氣で働いてゐます。御安心下さい。では今日は此で左様奈良します。皆さんに宜敷く

【封書(一)】
タエコサン・チカゴロハ、アンマリペンキヨウシテイナイデセウ・マオオバアサンヤ・オカアサンタチノイヒツケラ・マモツテイナイデセウ
マイニチ・オカアサンチカラ・コゴトライワレルトキンシヨノカタカラワラワレマスヨ
「キョウダイナカヨク・コウコウラツクス・テホンハニフミヤキンジロウ」トシヨウカニモアルヨウニ・キョウダイナカヨク・コウコウシナケレバナリマセン・ソシテペンキヨウシテ・ヒガシノ・イサコサンニマケテハナリマセンヨ
(第三面に つづく)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑納骨一覧表(年度・地域別)

令和3年5月11日現在

地域別	昭和		平成										令和					合計	戦没者数				
	34~63	元~26	27.2~4	27.525	27.7~11	28.3~5	28.530	28.720~1221	29.47	29.529	29.725~102	30.119~413	30.528	30.717~122	31.218	元527	元67~1223			23.18~1030	3.125~5.11	3.5.11	
北 辺	886																				886	231,000	
本土及び周辺 沖縄・硫黄島 方面不明	10201	2791	-5	151			84			22				461		17				-2	39	13,759	
中国(旧 満州)	37,594																					37,594	245,400
中国(除旧満州) 台湾	38,784	2																				38,786	561,100
朝 鮮	480	3								1												484	484
フ ィ リ ピ ン	90,643	4,292					4															94,939	518,000
ベ ト ナ ム マ レ ー シ ア イ ン ド ネ シ ア	8,345	1,532		61			2															9,940	248,300
ミ ャ ン マ ー イ ド	35,924	156		1			1			10				13		12						36,117	36,117
中 部 太 平 洋 ユ ー ギ ン 諸 島 ソ ロ モ ン 諸 島 ス マ ク	107,388	8,706		1,788			808			625				446		120						119,881	546,300
ロ シ ャ (旧 ソ 連)	37	10,947	-1	497	-7	-2	1,438	-15	-4	1,777	-6	-7	932	-15	-5	776	-9	-210	-9	235	16,349	54,400	
モ ン ゴ ル ノ モ ン ハ		1,369	-2		-1	-1		-1	-1	20	-1									-1		1,379	1,379
合 計	330,282	29,798	-8	2,498	-8	-3	2,337	-16	-5	2,455	-7	-7	1,852	-17	-5	925	-9	-210	-12	274	370,114	2,400,000	

※1 戦没者は軍人、軍属、一般邦人を含む。 ※2 -(マイナス)の数値はご遺族に伝達された数等を示す。

(第二面からつづく)

サムクナルカラカゼヒカナイヨウニ・チウイシテイイバンニ、ナルヨウニベシキヨウシナサイ
オトウサンハ、トウイトコロカライノツテキマス

サヨウナラ
オトウサンヨリ

【封書(2)】

タエコサン・コノテガミガヨメマスカ、モウズグーネンセイデスカラ
オチイサンヤ・オバアサンヤ・オカアサンヤ・オネエサンヤ・イフコトヲヨクキテ
ベンキョウスルヨウニナサイ 1年生ニナルトベンキョウセナイトホカノヒトニマケルヨ
マモルトケンカシテハナリマセン
コンバンハオソイノデサヨナラシマス
サヨウナラ
オトウサンヨリ
タエコサンエ

【語り継ぐ戦中・戦後⑩】
大嶋の叔父ちゃん

匿名希望

僕が幼少の頃、とても可愛がって呉れた叔父が近所に住んでおりました。この叔父夫婦には子が無かったので、休日には必ず叔父夫婦の家に泊まると言うほど溺愛されました。海軍士官で格好が好いこの大好きな「大嶋(おおしま)の叔父ちゃん」は太平洋戦争で戦死してしまいました。

敗戦直後の下サクサの中、叔父の連れ合い(僕の叔母)も統いて亡くなった事もあって、戦死の詳細や埋葬された墓など分からなくなつて既に半世紀余り、僕の周囲では忘れられておりました。

昭和天皇のお命の秒読みが始まった昭和63(1988)年の秋、僕は昭和と言う時代に何か大きな忘れ物をしてしまつたのではないかと、急にそんな気がしました。「そーうだー昭和の大戦で戦死したあの大嶋の叔父ちゃんのお墓参りだ。」と気付いたのです。厚生所やら区役所やら、色々調べました。個人情報保護の壁に阻まれてよく

城崎 安代様から船津丸 鷹次様への手紙
お父さまのすてよくおあさまのいひつけを、守つて弟や妹をかはいがつて、お勉強も、しつかりやつてみます。2つになつてつちちゃんは、きのふの赤ちゃん會で2等をとりました。

ちやうどこのお手紙をかいていますと、7時のニュースに古賀第一大将の尊い戦死の放送がありました。ほんとうに惜しいことですね。みなさんしつかりがんばつて、古賀大将の仇をうつして下さい。

私たちがからだをきたへ、心をみがいてつばなお國の子にとります。

曹長さまおとつさまをよろしくおたのみいたします。

ではおからだをくださいに
さやうなら
船津丸班長さま
昭和19年5月5日
城崎 安代

分りませんでしたが、どうやら出身地は新潟県上越市とまでは判りました。スケジュールの都合もあつてウヤマヤのま、11月3日、ミソレ混じりの暴風雨の中、妻と初冬の上越市に車を走らせました。まず上越市の高田警察署を尋ね事情を話すと、休日なのに数時間を費やして調査してくれ、そして解りました。叔父の生家は市郊外の大きな農家で、叔父の甥の大嶋勇さんが墓守りをしていました。

一向宗(浄土真宗東本願寺派)信徒で、この土地の風習だそうですが大層立派な仏壇があるので驚きました。お仏壇に開かれていた過去帳はなんとその日が命日でした。屋敷内に墓地があり念願の墓参ができました。僕は生涯の中で、一番「良い事」をした日だと二人納得しています。お土産に30kgもの本場のコシヒカリを頂戴いたしました。

【語り継ぐ戦中・戦後⑪】
千鳥ヶ淵に生を受け

埼玉県さいたま市 室伏 孝一

東京都千代田三番町二番地は、私の出生地です。昭和6(1931)年12月23日、父が宮内省の大膳に勤務しており、当地が宮内省の官舎でしたのでここで生まれました。現在の千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、戦前は宮内大臣の官邸で、侍従長官邸・賀陽宮家邸が隣接し、現在の墓苑の駐車場辺りに重光葵邸もあり屋敷敷地でした。

4歳3か月の昭和11年2月26日に二天事件が起り、森に囲まれた宮内大臣官邸の正門や森蔭に憲兵の腕章をつけた歩哨が重武装で警備していたことが噂に残っております。私の幼少のころの唯の思い出でもあります。官邸は正面入り口から車寄せ迄石畳で森に囲まれて数軒の官舎があり、官邸の裏側に宮内次官の官舎もあつたように記憶しております。

幼稚園に通うようになり、2歳年上の姉が2年生で連れだつて通いました。当時は東郷小学校と付属幼稚園で、東郷平八郎元帥の住居の隣接してしたのでその名がついておりましたが、戦後マッカーサー司令部からの指示でしょうか、現在は九段小学校となつております。幼稚園の入園式の記念写真は今もアルバムに残っておりますが、東郷元帥と三宮金次郎翁の銅像が緒に写つております。

父が転職して名古屋に移住し、小学校3年生の時太平洋戦争の開戦となり、中学1年の夏休みから学徒勤労動員に駆り出され軍需工場に通い、2学期以降授業はほとんど受けられず、B29の空襲が激しくなり昭和20年の3月に母の実家の広島県庄原市に疎開しました。8月6日の原子爆弾投下には直接遭いませんでしたが、二・三日後に広島市内で被爆した負傷者を疎開地の小学校に収容するために、看護の方付き添いで列車から降りて小学校までリヤカーや雨戸をはずして仮の担架で搬送の手伝いをしました。その時の負傷者の焼けただれた様子にたんならぬものを感じました。私も中学1年生で陸軍幼年学校を受験して将来は軍人として日本の為に尽くそうと志を立てておりました。8月15日の終戦の詔勅は、沖縄の激戦から来るものが来たと感じて聞き入りました。

本を取得するときには、千代田区役所に足を運び、その都度靖國神社に参拝しておりました。私の従兄弟の一人がサイパン島で亡くなり、妻の長兄もフィリピンで戦死しており、参拝を続けておりました。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑も靖國神社参拝の都度参拝をしており、出生地の跡を懐かしく思い起こしながら祖国の為に命を捧げた英霊に献花をしておりました。昨年8月14日に、新日本宗教育青年連盟による慰霊

各団体の慰霊参拝



比島ミンダナオ方面戦没者遺児の会(4.5)



トイレ清掃奉仕(4.10)



喇叭伝承会(4.18)



阿含宗清掃奉仕(4.18)



偕行社(4.21)



千代田区海洋少年団(4.24)



普明会教団(5.7)



清掃ボランティア活動奉仕会(5.15)



立正佼成会千代田中央教会(5.16)



解脱会青年本部(5.23)



水交会(6.17)

式典の末席で参拝させていただき、88歳の記念に奉仕会に入会させていただきました。この世界に二度と悲惨な戦争を起さないうように、日本人としてこの世に生まれた喜びと日本を守ろうと尊い命を捧げて亡くなられた英霊に感謝と哀悼の誠を捧げたいと念じております。この世に生を受けた地に英霊が祀られていることを常に心に留めて過ごしてまいります。

奉仕会推薦図書
好評につき多数頒布
5月広報紙に奉仕会推薦図書としてご案内(2面参照)しました「インパール作戦・イラワジ・メイクテイラー会戦の地へ戦没者慰霊の旅」について、既に30冊以上の頒布を行っており、好評を博しております。在庫は十分にありますので、ご希望される方は奉仕会宛にメール、又は電話にて申し込み願います。なお、著者の藤原淑子様への読後感や激励・質問等がありましたら、藤原様ご本人へ直接メールにてご連絡願います。 yokko55@a07.iscom.net

◎奉納、参拝団体・参拝者(敬称略、順不同)
浄土真宗東本願寺派本山東本願寺、普明会教団、法華宗(本門流)宗務院、真言宗護國派、龍雲寺、解脱会青年本部、偕行社、水交会、サムリス・トリサンテア、笹隆治・哲子、石井麻紀子、廣川貞雄、矢嶋章八、秀平良子、阿曾沼美恵子、河村尚美、高梨 靖、安元博美、人見勝久、内藤寿美子、高野武士
◎奉仕会年度会費納入者・団体(敬称略、順不同)
小牧市遺族会、中曾根昌一、松永紀子、山口格夫、二俣邦枝、親川菊江、小黒俊之、芹川いづ子、柴田榮一良、橋岡元徳、鹿又諭隆、川上欽司、中川昌久、服部 誠、服部千里、高橋信行、稲葉久江、水野雅章、細矢雅久、臺きよか、塩田益也、柿沼典子、新田光子、勝 重蔵、杉山外代美、大坪寿光、伊藤武志、横山則義、野村太郎、滝川宏子、大森昭彦、本橋邦夫、日笠山正治
◎新入会員(敬称略、順不同)
種田 洋、高橋邦男、清水芳雄
◎参拝団体(前項以外、敬称略、順不同)
比島ミンダナオ方面戦没者遺児の会、富士植木、千代田区海洋少年団、喇叭伝承会、喇叭伝承会
◎清掃奉仕(敬称略、順不同)
立正佼成会千代田中央教会、阿含宗、トイレ清掃奉仕会、清掃ボランティア活動奉仕会、伏見公孝
◎献花台奉仕者(敬称略、順不同)
和光古流(高橋理淳・汐満理和)、池坊宝生流(大澤勝風・長谷川一翠)、柴山古流(緑山流(濱中冷雅・北川冷智・高畑冷恵・高畑冷丈)、春日流(瓶花(新井悠鷲・小野村悠愛)、日新流(小田切博新・佐藤寿新、藤榮流(落合一文・倉地一博・溝渕一富)、古流わかば会(武藤理春・武藤理高・武藤理恵・秋葉理恵・金澤理代・丸山理宛)、古流茂風会(大藤茂風・矢作紫風・宮下喜代風・渡辺圭風)、国際華道如心流(新井禮心・吉見恵峯・片桐真心・鈴木淑峯)
令和3年5月31日まで受付分を掲載、6月1日以降受付分は次号に掲載します。なお、前号において、年度会費納入者の一部記載漏れがありました。関係者の皆様には深くお詫びいたします。

昭和天皇御製碑
秩父宮勢津子妃殿下揮毫

くのにためのいのち
さざげしひとくくの
ことをおもへばむねせまり
くる

【語り継ぐ戦中・戦後⑱】
お父さん、

東京都板橋区 木村 百合子

お父さん、四季折々の樹々と花の苑での千鳥ヶ淵での眠りはいかがですか？佐賀の嬉野から宮崎の連隊へ、試験に継ぐ試験の落下傘部隊の訓練中の召集令状は母に依れば「南方方面」としか記されず、それはレイテ戦が壊滅に近い昭和19年も終わりに近い頃で、お父さんの最期はフィリピンのルソン島バレット峠の山中でした。もとより国に命を捧げる覚悟のお父さんなれば、マニラからレイテ島へ飛ぶ輸送機もなくレイテ島へ行けず落下傘部隊としての本懐を遂げられなかったことは一抹の無念があったのではと察します。

ハルピン、牡丹江と戦線を辿り、フィリピンから今都心の一角の千鳥ヶ淵に眠るとは、お父さんは想像だにしなかったことでしょうね。昭和43年の政府フィリピン遺骨収集で当時の厚生省柏井援護局長のもと北部ルソン周辺が実施され祖国に帰還したお父さん、私は信じています。お父さんは確かに此処で眠っている、と。

上皇陛下御製碑
常陸宮華子妃殿下揮毫

戦なき世と
歩みきて思い出づ
かの難き日と
生きし人々

出征の時、お父さんは27才、母は22才。私はお腹の中で三月に足らず長の別離となりました。小指の先すら触れてもらえず相まみえることのない父と子の宿命に戦友会や慰霊祭での生還者の姿に、生きて帰った人がいるのに何故私の父はいないかと恨めしく私は泣きました。片足でも帰ってきてほしかったと母も泣きました。小学校6年生の時、長崎県下の戦争遺児が黒い煙をはく臨時列車の雲仙号で靖国神社へ参拝。私はその時誓いました。お父さん、私は東京に行きます、必ずフィリピンへ行きます。と。爾来フィリピンをはじめ父が見た風景と縁を追って父の魂を求めてまるで巡礼者のように歩いてきました。

そして、「靖国の桜花の下を白木の箱で凱旋する」と遺書にしたためられた靖国神社、遺骨が納められている千鳥ヶ淵墓苑、高千穂落下傘部隊の慰霊碑が建立されている高野山の永代供養もすませました。

この10年ばかり、私は東京都遺族連合会の一員として海外から無言の帰国をされたご遺骨をお迎えする式に参列しております。お父さん、私の戦後は終わっていません。お父さんの胸に飛びこみ親子の名乗りをする日をお待ちしています。まもなくその日が来ることを静かに待っています。お父さん、戦友の皆様と連の花咲く西方浄土の千鳥ヶ淵墓苑でどうぞ安らかに眠り下さい。

追伸 フィリピン山岳州の国道沿いに咲いているトランペトリリーが今私の家の玄関先で見事に咲いています。お母さんが大好きだった歌「夜来香」の香りがします。一度是非見に来て下さい。お待ちしております。

暑中お見舞い申し上げます。
令和三年 盛夏

日本遺族会
中央乃木会
東郷木会
偕行郷会
日本郷友連盟
英霊にこたえる会
大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
特攻隊戦没者慰霊顕彰会
水交保存会
三笠保存会
靖国神社
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

駿東流 小泉 恵華
末央古流 末次 一珂
川口 一爽
宏道流 渡邊 恵壽
五十鈴流古流一眺派 蟹江 一舂
古流正華道 芦沢 千啓
京葉古流 小浦 一篠

○奉仕会HPへの広報紙バックナンバーの掲載
奉仕会HPに令和元年5月号以降の広報紙のバックナンバーを掲載しております。過去の広報紙を既に破棄したが再度見たい記事がある方や、記事を保管している方で必要な記事の検索等には是非ご利用願います。

○奉仕会HP用QRコードのご利用を！
この度奉仕会HP用のQRコードを作成しました。以下のQRコードを読み取れば、容易にHPにアクセスできます。

○奉仕会新評議員の就任
鈴木新会長に加え、次の方々々に評議員にご就任頂きました。

深山 明敏(偕行社副理事長)
望月 晴文(東京都中小企業育成株式会社社長)
山下 輝男(大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会代表理事)

墓苑便り(奉仕会だより)

7/8月の献花予定

遠州流一森会 名鏡 一玲
美風池坊 小島 美陽
古流松濤会 石井 理顕

追伸 フィリピン山岳州の国道沿いに咲いているトランペトリリーが今私の家の玄関先で見事に咲いています。お母さんが大好きだった歌「夜来香」の香りがします。一度是非見に来て下さい。お待ちしております。

暑中お見舞い申し上げます。
令和三年 盛夏

日本遺族会
中央乃木会
東郷木会
偕行郷会
日本郷友連盟
英霊にこたえる会
大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
特攻隊戦没者慰霊顕彰会
水交保存会
三笠保存会
靖国神社
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

駿東流 小泉 恵華
末央古流 末次 一珂
川口 一爽
宏道流 渡邊 恵壽
五十鈴流古流一眺派 蟹江 一舂
古流正華道 芦沢 千啓
京葉古流 小浦 一篠

○奉仕会HPへの広報紙バックナンバーの掲載
奉仕会HPに令和元年5月号以降の広報紙のバックナンバーを掲載しております。過去の広報紙を既に破棄したが再度見たい記事がある方や、記事を保管している方で必要な記事の検索等には是非ご利用願います。

○奉仕会HP用QRコードのご利用を！
この度奉仕会HP用のQRコードを作成しました。以下のQRコードを読み取れば、容易にHPにアクセスできます。

○奉仕会新評議員の就任
鈴木新会長に加え、次の方々々に評議員にご就任頂きました。

深山 明敏(偕行社副理事長)
望月 晴文(東京都中小企業育成株式会社社長)
山下 輝男(大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会代表理事)

宝くじは、

図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちでみなさまの豊かな暮らしに役立っています。

青色回転灯パトロール車
下水道啓発パンフレット
自然公園案内映像展示設備
遊具

宝くじは、

図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちでみなさまの豊かな暮らしに役立っています。

青色回転灯パトロール車
下水道啓発パンフレット
自然公園案内映像展示設備
遊具

宝くじは、

図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちでみなさまの豊かな暮らしに役立っています。

青色回転灯パトロール車
下水道啓発パンフレット
自然公園案内映像展示設備
遊具

